

事業概要【地域の脱炭素化を起点とした「GO▶GOTSU！山陰の創造力特区」の実現】

申請者	島根県江津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	199,500千円 (26,500千円)
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	- 地域経済活性化を目指し、地域内企業を集めた官民連携プラットフォームを構築し進めることで、地域内の経済循環と可処分所得増加を図る。 - 地域内経済循環を自律的なものとするため、次世代自動車を使った公道カートレースを実施し、本地域の付加価値向上を狙う。地域外の脱炭素関連企業との連携を行い、地域内に新たな産業創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○地域の官民連携プラットフォーム構築事業 - プラットフォームの組織化準備（委託料）7,700千円 - 勉強会、組織を運営する人材探し（委託料）4,400千円 ○次世代自動車カートレースの開催準備 - 次世代自動車カートレースのPR経費（広告宣伝費）6,000千円 - カートレースプレイベントの開催経費（委託料等）5,000千円 - カートレース準備のための事務費（会場使用料等）3,400千円						
地域の多様な主体の参画	地域の脱炭素化を推進し、地域内経済循環を達成するため、商工会議所や地域の電力会社、電気店等、地域内での連携を促進する。 島根県や大学、金融機関、労働組合団体、ケーブルテレビ、地域住民などの参画も見込んでおり、地域全体でイベントを活用した地域の付加価値向上を目指す。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+18人） ②市内企業アンケートによる脱炭素の取組みに関心がある企業の割合（+23%） ③連携地域外企業数（+9社） ④官民連携プラットフォーム構築数（+1プラットフォーム） ⑤企業の実証フィールド、地域企業とのイノベーション、新たな基幹産業の創出事業数（+3事業） ⑥カートレースを観光資源ととらえるコミュニティのモデル地区設定数（+2コミュニティ）